

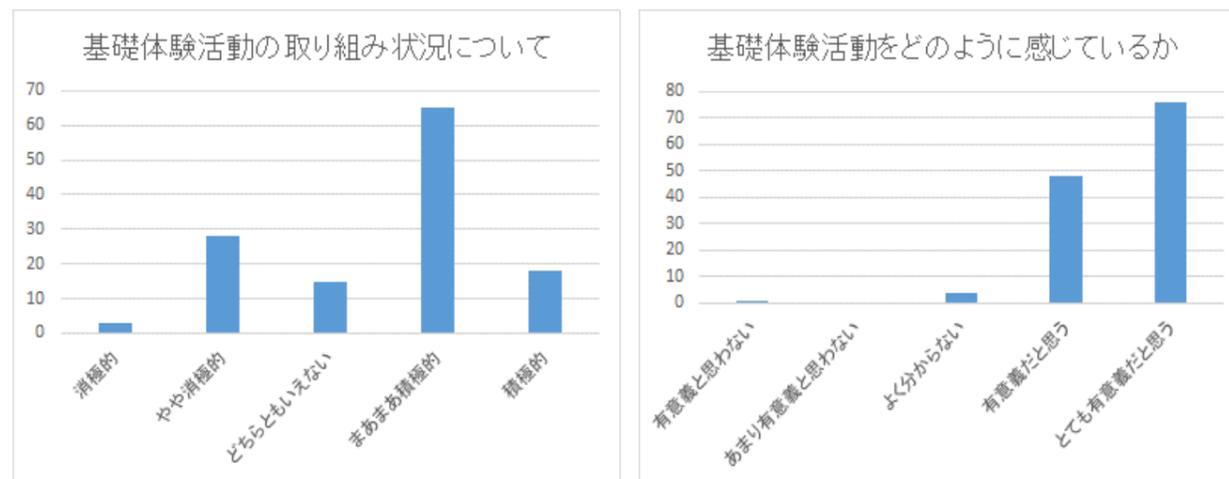
スタートアップセミナーがありました。

1回生は大学に入学してから半年が経ちました。入学してから半年経ったこの時期に、1000時間体験学修での学びについて振り返るスタートアップセミナーが9月26日（火）に行われました。

このスタートアップセミナーは、「入学時からの基礎体験活動の取り組みを振り返るとともに、活動参加への心構えや手続き等の再確認を行うこと」「グループ内での体験発表会を通して、体験活動で得られる多様な学びや課題を共有すると共に、今後の活動への展望を持ち、意欲を高めること」を目的としています。スタートアップセミナーは、35番教室で行われ、129名の1回生が参加しました。1回生にとっては1000時間体験学修のうち、540時間を自ら選択して活動していきます。今年度後期からは、4回生までの見通しを持って基礎体験活動に取り組み、主体的な人との関わりを通して島根大学教育学部が提唱する「10の教師力」を高めてほしいと思います。

スタートアップセミナーのアンケートより

スタートアップセミナーに参加した1回生129名に、今年度前期（4月～9月）の基礎体験活動を振り返って、答えてもらいました。



基礎体験活動の有意義性については、約96%が有意義な活動と回答しました。その反面、基礎体験活動の取り組み状況は、積極的に取り組んでいると回答する学生は約64%でした。「消極的だった」と回答した学生は、「4年間あるという甘えがあったから。」「部活動が忙しいから。」「時間があわないから。」という理由で、体験活動の有意義性は理解しているものの、積極的になれなかった実態が分かりました。

1回生の感想より

○前期は、何となく活動していた体験活動と向き合い、自分の課題は何か、大学卒業後の自分に必要なものは何なのかを考え、これからの自分に必要となる力を身につけるためには、どんな活動に参加していくべきかを考えることができました。多いなあと感じていた540時間ですが、あつという間に感じる事ができるよう、これからの活動を楽しく、有意義なものにしていきたいです。

○自分や周りのメンバーが、今まで体験してきたことを言語化することで、次の目標をはっきりと定めることができました。とても有意義な時間だった。

○自分が今まで経験していないような体験や、やってみたいと感じるような体験をしている人が何人もいて、良い刺激になりました。また、先輩からのアドバイスで、興味があることと自分に必要だと感じることをバランスよく経験していけたら…と思いました。

○班の中での話し合いの時、それぞれが別の体験活動に参加しているのにも関わらず、共通の課題が出たのはおもしろいと感じた。普段、体験活動のことを話す機会がないので、他の人の話を聞いたのは、とても有意義だと感じた。

○自分以外の人の体験活動について聞くことで、自分が行ったことのない種類の体験に行ってみたいと思えるようになりました。また、これまでの自分の体験を振り返ることができ、体験の大切さを理解することができました。

○前期、何も分からないまま、やみくもに体験活動を行っていたけど、今回こうして振り返ってみて、私自身すごく成長できているところがたくさんあると思えたし、これからの課題も見つけることができたので良かったです。班のメンバーも、それぞれに学びを得ていたため、今後お互いに共有しながら、みんなで成長していきたいと思いました。

○班のメンバーたちの体験活動を聞くことで、楽しそうに話をする姿や、学んだことをたくさん発表する姿を見て、すごくうらやましく感じた。みんなに負けていられないと感じることができ、より意欲的に活動したいと思えるきっかけになった。自分には、早いかたと決めつけて避けていた活動を行っている仲間もいて、背中を押してもらえた気がしたし、挑戦したいと思えた。このセミナーはとても良い時間だったと思う。

